

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

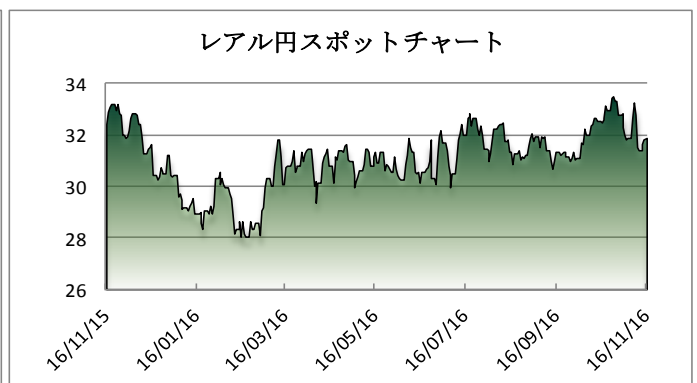
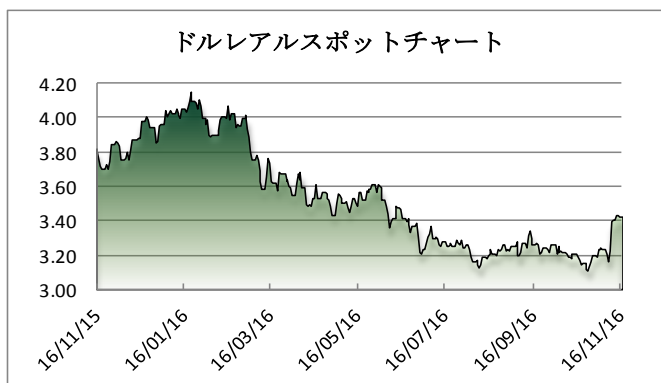
昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀による通貨スワップを介した積極的なドル売り介入に加え、一部地元紙が「Temer大統領は12月中旬前に年金制度改革に関する法案を議会に提出する」と報じたことでレアル買いがやや優勢となり、3.42台半ばで取引を終えた（前営業日対比レアル高で取引を終えるのは5営業日ぶり）。ボベスパ指数も前日比1.9%高を記録した。Goldfajn総裁は海外メディアと実施したカンファレンスコールにて、①中銀の目的は過度な相場変動を抑制すること、②先進国が現在計画している金融政策の方針がトランプ勝利を受けて転換されるとは考えていない、③（グローバル）経済の安定が永遠に続くことはない、④現在の外貨準備の水準に満足している、等の見解を示した。また、Meirelles財務相は、ニューヨークで開催中のイベントにおいて、2017年の成長率(GDP)見通しは従来の+1.6%から引き下げられる可能性が高いと発言（最新見通しは来週公表予定）。歳出に上限設定を許容する憲法改正については、「議会での承認を得られる」と改めて自信を示すと共に、「財政再建が金利抑制に寄与する」と述べた。

ブラジル中銀は本日17日も通貨スワップの通常入札(1万枚、5億ドル相当)とロールオーバー(2万枚、10億ドル相当)を実施。レアル相場は11日に一時3.50台後半までレアル安が進行したが、中銀介入の効果もあり、目先は3.37-3.50のレンジで値を固める可能性が高い。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月15日	11月16日	前日比	10月14日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3.4344	3.4262	-0.0082	3.2062	+0.2200
	対円	JPY	31.80	31.84	+0.04	32.50	-0.66
	対ユーロ	BRL	3.6854	3.6597	-0.0257	3.5174	+0.1423
円	対ドル	JPY	109.20	109.08	-0.1200	104.18	+4.9000
	対ユーロ	JPY	117.09	116.62	-0.47	114.31	+2.31
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	59,657	60,759	+1,102	61,767	-1,008
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	299.2	304.4	+5.2	267.5	+36.9
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	12.27	11.92	-0.35	11.40	+0.52
DI Future Apr17 (金利先物)		%	13.46	13.41	-0.04	13.14	+0.27
3 Months US Dollar Libor		%	0.906	0.906	+0.000	0.882	+0.024
CRB Index (国際商品指数)		Index	183.1	182.3	-0.8	189.5	-7.2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。